

株式会社アイワード

札幌市中央区北3条東5丁目5番地91
TEL : (011) 241-9341 FAX : (011) 232-8228

URL <http://www.iword.co.jp>



会社概要

- 代表者 代表取締役 木野口 功
- 会社設立 1966年
- 資本金 6,718万円
- 従業員 261名(うちパート22名)
*身体障がい者2名、精神障がい者1名、聴覚障がい者23名
- 事業内容 企画メディア事業、情報処理システム開発事業、印刷・製本事業



障がい者雇用について伺いました



本やパンフレット、チラシ、ポスターなどさまざまな印刷物の元となるデータを制作するプリプレス部は大勢の人が作業に当たる活気ある職場。聴覚に障がいがあることを全く感じさせない山本さんは、この部門のベテランらしく周囲に指示を出しながら、パソコンに向き合っていました。

性別、障がいによる差別のない開かれた職場づくりを推進

当社は、1965年創業。当時印刷業界では、聴覚に障がいのある人を雇用している企業が多く、当社も1名雇用しておりました。障がい者雇用を拡大したきっかけは、1974年の第1次オイルショックで経営が悪化した時に経営の建て直しを図った現社長が『企業は社会の縮図である』と考え、性別、障がいによる差別のない雇用と情報を共有し、

開かれた経営を目指したことによります。

時代の変化と技術革新により、雇用形態にも変化が

障がいのある人が多く働いているのは、製本部門ですが、社内で職域拡大をしてほしいという声が強くなり、DTP部門に初めて聴覚に障がいのある山本さんが採用されました。採用当時は業界も大きな変革期にあり、当社もパソコンで印刷データを作成するDTP部門を立ち上げたばかりで、わずか4名のス

タートでした。障がいのない人とともに一から学びあいながら新しい技術に取り組んでいきました。山本さんと周りの人達とのコミュニケーションは大変苦労しましたが、当時の苦労が実を結び、今では山本さんの他に新たに聴覚に障がいのある方2名を採用し、3名ともこの部署に欠かせない存在として活躍しています。採用にあたっては、新規卒者の一般募集ですが、聴覚に障がいのある人の雇用実績が多いため、高等聾学校からも紹介があります。

株式会社アイワード

URL <http://www.iword.co.jp>

職場を語る
仕事を語る



(株)アイワード
山本 恵理さん

学生時代に学んだデザインの仕事ができる職場。それを優先条件として出会ったのがアイワードです。現在はプリプレス部に所属し、DTPオペレーターとして印刷物の文字入力やレイアウトなど組版を行っています。この部署には現在、私のほかに2名の聴覚に障がいのある人が障がいのない人と机を並べ勤務しています。私と同じ聴覚に障がいがあり、企業への就職を希望する方には、日本語の読み書きをしっかりと身につけてほしいとアドバイスしたいです。



インタビュー後記

アイワードのDTP部門の先駆けとなった山本さんは、なんと全国障害者技能競技大会で金賞、国際アビリンピック(英文DTP部門)においては銀メダルを受賞されました。一つの道を極めようとする山本さんの真摯な姿勢が伺えました。



障がいのある人がいることで、 周囲も自然に配慮できるように

当社では障がいのある人の採用にあたって手話通訳者も採用し、会議や学習会の際にその人を介して円滑な意志の疎通を図っています。最初は情報が伝わりきらずに様々な失敗もありましたが、聞こえないことで何が不便なのか、どういう手助けが必要なのか、本人が周囲に積極的に伝えるようになり、周りも自然に聞こえない人への理解と配慮ができるようになりました。

カタチにこだわらず コミュニケーションをとる重要性

社員は、聴覚に障がいのある人とカタチにこだわらずコミュニケーションを取ることの重要性を強く認識しています。当社は長年にわたって障がいのある人を雇用し、共に働いてきました。それだけに、社員には障がいのある人が近くにいたら、手助けするのは人として当たり前のことという意識が醸成され、障がいのある人、ない人の垣根を感じさせない職場づくりにつながりました。